

目次

巻頭言

生活科・総合を核に学びをつなぐ

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

愛知淑徳大学 文学部 教育学科 准教授

加藤 智……………2

気付きの質が高まる体験と表現の在り方

〜第一学年「めざせ！アサガオさんの○○」

の実践を通して〜

香川大学教育学部附属高松小学校 教諭

篠原 裕 之……………8

解説

体験と表現の往還を促す生活科の授業実践

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

高松市立多肥小学校 教頭

久利 知 光……………22

思いや願いをもとに問いをもち、

学びを深めていく子供

〜第一学年「みんなでわくわくダンボールランド」

の実践から〜

上越市立大手町小学校 教諭

甫 飯 直 樹……………24

解説

「問いをもつ」ことから

学びを深める子供を見つめる教師

日本生活科・総合的学習教育学会 新潟県地域世話人

上越教育大学 教授

松 井 千鶴子……………38

地域の一員・公共の意識を高める

総合的な学習の時間

—社会科学学習を発展させた実践の効果と成果—

大分大学教育学部附属小学校 教諭

佐藤 宏……………40

解説

総合的な学習の時間の

入門期の単元をデザインする

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

大分県教育庁義務教育課 指導主事

後藤 竜 太……………54

学び続ける素地をはぐくむ総合的な学習の時間

↳「さんちよ梅プロジェクト」実践に見られる

子どもの姿を手がかりに

福島県郡山市立西田学園 教諭

(前福島県郡山市立三町目小学校 教諭)

白井孝 拓……………56

解説

子どもの思いに寄り添い、未来につながる

力を身に付ける地域を材とした実践

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

福島大学人間発達文化学類

附属学校臨床支援センター 教授

宗形潤子……………70

人と関わり、人の営みに学ぶ子供と教師

—総合的な学習の時間「伊那小の土と植物で

私たちの焼き物を作ろう」の実践報告—

信州大学教育学部附属松本小学校 教諭

白鳥勝教……………72

解説

総合が求める教師のあり方

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

立教大学 教授

前田一男……………86

総合的な学習の時間における

起業体験活動の新展開

↳「ジュニアエコノミーカーレッジ」の実践を通して

(前熊本県熊本市立長嶺小学校 校長)

森江一史……………88

解説

「体験プログラム」を「探究の過程」に

位置づけ高める探究的学びの実現

上越教育大学大学院 准教授

河野麻沙美……………102

総合的な学習の時間におけるキャリア教育の展開

↳アントレプレナーシップの実践について

山口県周防大島町立東和中学校地域連携活動支援員

(前山口県周防大島町立東和中学校 教諭)

西村仁明……………104

解説 総合的な学習の時間における

キャリア教育の展開

～アントレプレナーシップの実践について～

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

徳島県阿南市立羽ノ浦中学校 教諭

鎌田 美……………118

「問う」ことをベースに「生き方」を考える

総合的な学習の時間

～生徒全員の思いを集約し、

地域への意識を高めた3年間の実践～

静岡県静岡市立城山中学校 教諭

武藤 寿……………120

解説 中学校の総合的な学習の時間の

一層の充実と発展を

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

愛知淑徳大学 文学部教育学科 准教授

加藤 智……………134

持続可能な地域社会を担う

人材の育成と「総合的な探究の時間」

～中山間地域にある高校のカリキュラム

・マネジメント～

岡山県立津山東高等学校 校長

(前岡山県立勝山高等学校 副校長)

園田 哲郎……………136

解説

地域と協働したカリキュラム・

マネジメントの推進をリーダーとして推進

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事

山梨県立吉田高等学校 教頭

廣瀬 志保……………150

発刊のねらい……………152

応募・執筆要領……………153

編集後記……………154

執筆者分布図……………155